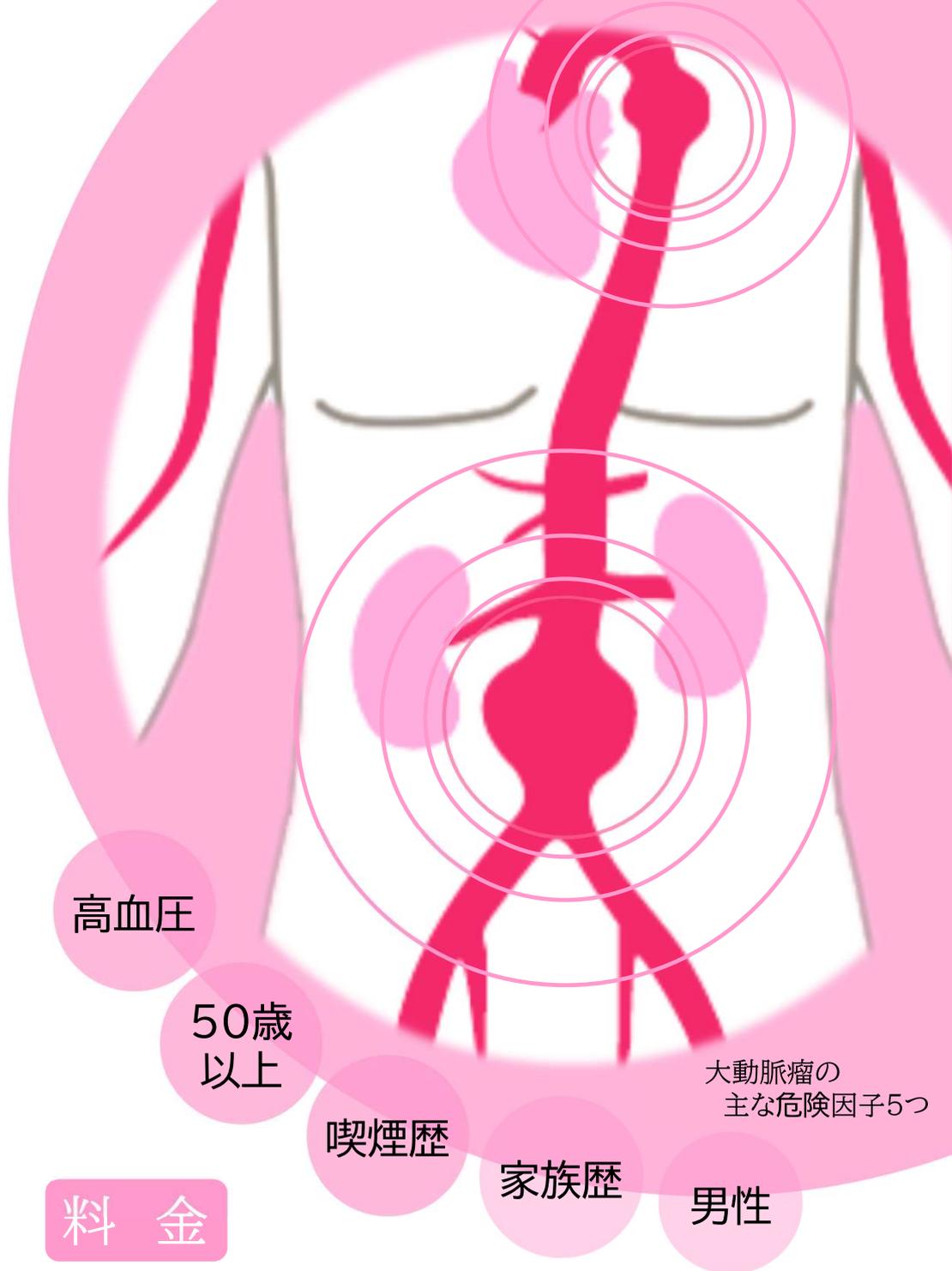


胸部・腹部大動脈瘤検診

りゅう



高血圧

50歳以上

喫煙歴

家族歴

男性

大動脈瘤の
主な危険因子5つ

料金

- | | |
|--------------|---------|
| ① CT | 22,000円 |
| ② 胸部X線+腹部エコー | 13,000円 |
| ③ 腹部エコー | 10,000円 |

実施日時

毎週金曜15:00～

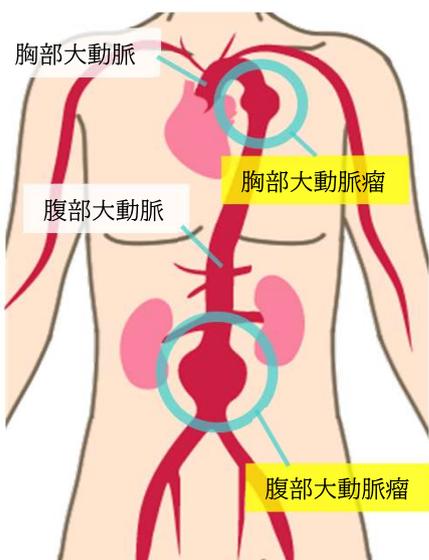
大動脈瘤とは？

心臓が拍出する血液は、動脈の中を流れて全身に行きわたります。胸部や腹部の大動脈が、加齢や高血圧、高脂血症、喫煙などによる動脈硬化で脆弱化し、血流の圧力に耐えきれずに膨らんだ状態を大動脈瘤(瘤:こぶ)といいます。



なぜ気にする必要があるの？

大動脈は瘤化しても痛みを感じないので、無症状のまま大きくなっていくことがほとんどです。本人が気付かないまま大きくなった大動脈瘤がある日突然**破裂**すると、胸部の場合は激しい胸痛を、腹部の場合は激しい腹痛や腰痛を起こし、大量出血となり命に関わる場合があります。症状が出る前に大動脈瘤を発見し、**早期治療で大切な命を守りましょう！**



各検査の特徴

① CT(胸部・腹部)

広範囲かつ精度が高く、胸部・腹部大動脈瘤の詳細な情報が得られるため、有用な検査です。早期肺がんなどの発見にも役立ちます。

② 胸部X線+腹部エコー

胸部大動脈瘤の発見率はCTに比べて低下しますが、CTよりも身体に負担がかかりません。疑いの診断が出た場合には、必要に応じて追加でCTなどをおすすめする場合があります。

③ 腹部エコー

腹部大動脈瘤の検診となります。

大動脈瘤に対する治療方法について

大動脈瘤が一定以上に大きくなり、破裂する恐れがあると判断された場合、薬の治療では破裂を防止できないため、手術で治療するしかありません。手術には次の2種類の方法があります。大動脈瘤ができていない部位や大動脈の形態などにより、どちらかの手術方法が選択されます。

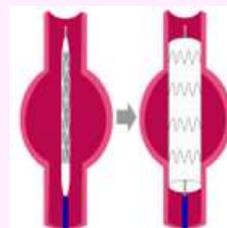
人工血管置換術(開胸・開腹手術)

胸部または腹部を20~25cmほど切開して、大動脈瘤を切除して人工血管に置き換える方法です。2~4週間の入院が必要です。手術前の状態に戻るには1~3か月ほどかかることがあります。これらの術式は標準治療(もっとも実績のある治療)ですが、すべての患者さんが手術に耐えられるわけではありません。術後は年に1回程度の定期検診が必要です。



ステントグラフト内挿術(血管内治療術)

両足の付け根を1~5cmほど切開して、大動脈瘤の中に細く折りたたんだステントグラフト(金属製のステントが付いた人工血管)を挿入し、大動脈瘤の中に新しいステントグラフトを留置することで破裂を予防する方法です。傷が小さいために術後1週間程度の入院で退院が可能となります。2~4週間で手術前の状態に戻ります。ご高齢の方にも可能な治療方法です。術後は年に1回程度の定期検診が必要です。



Q 胸部・腹部大動脈瘤が見つかった場合は、その後、治療は受けられますか？

A 当院の専門外来で、ご対応させていただきます。他の医療機関への紹介を希望された場合もご紹介させていただきます。

Q この検診に公費の助成はありますか？

A 現在は、全額自己負担となっております。

その他のQ&Aはホームページでご覧いただけます。

